

令和 6年度 杉並区施策評価シート I

(00036)

施策	01	強くしなやかな防災・減災まちづくり
目標	01	みんなでつくる、災害に強く、犯罪を生まないまち
施策担当課	市街地整備課	関係課 土木計画課 都市計画道路担当 狭あい道路

施策目標	区内の建築物の耐震化や無電柱化が進むことで、災害時でも建築物等が倒れにくいまちづくりが進んでいます。 。木造住宅密集地域等において建築物等の不燃化が進んでいることに加え、オープンスペースや円滑な通行のための道路空間が確保されることによって、燃えにくいまちづくりが進んでいます。 東京都の河川改修事業や雨水流出抑制対策などが進むことによって、水害が起こりにくいまちづくりが進んでいます。 災害に強く被災しても迅速に復旧・復興することができるまちづくりが進んでいます。
------	---

活動指標		成果指標	
指標名 (1)	区が助成した耐震診断等の件数 (旧耐震基準建築物)	指標名 (1)	区内建築物の耐震化率
算式・指標説明		算式・指標説明	耐震性を有する建物棟数 ÷ 建物総棟数 × 100 【行政】
指標名 (2)	防災まちづくりニュース等の発行回数	指標名 (2)	木造住宅密集地域 (不燃化特区) の不燃領域率
算式・指標説明		算式・指標説明	空地率 + (1 - 空地率 ÷ 100) × 不燃化率 【行政】
指標名 (3)	雨水浸透施設設置助成戸数	指標名 (3)	雨水流出抑制対策施設の整備率
算式・指標説明		算式・指標説明	流域豪雨対策計画の目標対策量 (627,000m ³) に対する雨水流出抑制対策整備量の割合 【行政】
指標名 (4)	道路拡幅整備延長	指標名 (4)	狭あい道路の拡幅整備率
算式・指標説明	道路の拡幅整備が完了した延長	算式・指標説明	「拡幅整備を要する総延長 (614km) 」に対する「拡幅整備総延長」が占める割合 【行政】
		指標名 (5)	
		算式・指標説明	
		指標名 (6)	
		算式・指標説明	

区分			単位	令和 3年度	令和 4年度		令和 5年度		目標値	目標年度
				実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績		
活動指標	活動指標（ 1 ）	1	件	153	240	164	240	236		
	活動指標（ 2 ）	2	回	6	6	7	6	9		
	活動指標（ 3 ）	3	戸	42	100	50	100	26		
	活動指標（ 4 ）	4	m	7,009	10,000	6,671	10,000	5,994		
成果指標	成果指標（ 1 ）	5	%	92.9	94.0	93.7	94.5	94.6	99%以上	令和12年度
	成果指標（ 2 ）	6	%	62.2	63.2	62.8	64.2	63.6	70%	令和12年度
	成果指標（ 3 ）	7	%	55.5	59.2	56.8	62.2	57.7	83%	令和12年度
	成果指標（ 4 ）	8	%	40.7	42.8	41.7	44.5	42.7	55.8%	令和12年度
	成果指標（ 5 ）	9								
	成果指標（ 6 ）	10								
施策コスト	事業費	11	千円	3,461,049	3,189,459	2,223,492	2,818,556	2,212,531	特記事項	
	人件費	12	千円	384,073	325,841	337,259	352,821	366,083	○事業費の実績が目標値に達していない主な理由としては、建築資材費高騰等による影響により耐震改修や震災救援所周辺等の助成件数が少なかったこと、都施工の河川改修に伴う区管理橋架替工事の落差金等が挙げられます。	
	総事業費 (11+12)	13	千円	3,845,122	3,515,300	2,560,751	3,171,377	2,578,614		
	国・都からの補助金等	14	千円	1,736,363	1,343,178	790,711	914,648	639,554		
	総事業費伸び率 (計画、実績の対前年度比)	15	%			33.4	9.8	0.7		
	人件費比率 (12÷13)	16	%	10.0	9.3	13.2	11.1	14.2		

課題・分析		近い将来に発生するおそれが指摘されている首都直下地震等や、近年多発する集中豪雨や大型化する台風等に備えるため、建物が倒れにくく燃えにくく風水害に強いまちづくりを進めることが喫緊の課題です。しかし、近年は建築費高騰等の影響から、耐震改修や不燃化建替え、雨水浸透施設設置の件数が減少していると考えられます。建築物の耐震化については、建築費等高騰の影響により延期される工事の時期や費用等を把握し、工事に向けたアドバイス等により啓発を図る必要があります。建築物の不燃化については、令和7年度末の助成期間終了を見据え、除却・建替え意識の啓発につながる周知等を検討する必要があります。水害対策の推進としては、民有地における対策として、都が令和5年12月に改定した豪雨対策基本方針にて示されたグリーンインフラの推進など更なる取組が必要となっています。狭あい道路拡幅整備については、整備率が4割を超えたこともあり整備件数は減少傾向ですが、重点地区等において戸別訪問を実施し、折衝による拡幅整備に取り組んでいきます。
施策の成果		建物が倒れにくく燃えにくく風水害に強いまちづくりを進めるため、各種助成や道路拡幅等の基盤整備、防災まちづくり計画（案）の作成等を行いました。建築物の耐震化・不燃化については、木造住宅等へのポスティングによる助成制度の周知・啓発等もあって、耐震化率・不燃領域率とも着実に上昇しています。加えて、更なる不燃領域率の向上を目指し、令和6年度から不燃化特区の建替え促進助成金を拡充するための要綱改正等を行いつつ、制度周知のためGISへの助成対象区域の表示を行いました。一般緊急輸送道路沿道建築物については、対象建物を抽出し、所有者の把握に努めました。方南一丁目地区については、多様な主体へ防災まちづくり計画の周知と意見聴取に努めるとともに、庁内推進チームを開催して関係各課との調整を図り、防災まちづくり計画（案）を作成しました。基盤整備については、馬橋通りの拡幅用地取得を行うとともに、狭あい道路拡幅整備を着実に進めました。雨水流出抑制対策として、令和5年度の実施対策量は5,689㎡で、この内126㎡が個人住宅等への助成によるものです。都の豪雨対策基本方針に定める流域対策（時間10ミリ分）の目標対策量は、神田川と目黒川流域豪雨対策計画に基づき627,000㎡（令和19年度末）とされており、この目標に対し、令和5年度末までの累計実績対策量は361,815㎡となり、令和5年度の目標62.2%に対し実績は57.7%でした。
改善・見直しの方向 中長期	今後の施策の方向性	拡充
	今後の進め方	建物が倒れにくく燃えにくく風水害に強いまちづくりを目指し、現状の施策を着実に推進するとともに、令和6年能登半島地震等を踏まえ、耐震化・不燃化の支援策の拡充を検討します。各種助成については、助成事業一覧の作成等により周知啓発活動等を強化し、利用促進を図り、耐震化率・不燃領域率・雨水流出抑制対策施設の整備率の向上を目指します。耐震化については、杉並区耐震改修促進計画に基づき計画的・総合的に耐震化を進めます。不燃化特区については、令和6年度に策定した方南一丁目地区防災まちづくり計画に基づく取組を進めるにあたり、3D都市モデル等を活用した住民の理解促進を図ります。雨水流出抑制対策については、グリーンインフラの活用など効果的な取組の検討を進めます。基盤整備について、橋梁は予防保全型の修繕方針に沿って安全かつ効率的な施設管理に努めていきます。また、狭あい道路拡幅整備及び電柱移設を引き続き実施し、円滑な通行の確保に取り組めます。水害対策においては、既存のシステムやITを活用して、より効果的な情報提供について検討を行い、局地的大雨にも柔軟に対応できる水防態勢を充実していきます。また、東京都が進める河川・下水道整備の早期実現に向け、都との連携・協力を強化するなど、治水対策を総合的に推進していきます。以上の施策から、あらゆる災害を想定し事前に備えることで、災害に強く被災しても迅速に復旧・復興することができる、安心して住み続けられるまちづくりを推進します。

令和 6年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 01】【施策名称 強くしなやかな防災・減災まちづくり】

金額の単位は千円

(00036)

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 5年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 350	防災まちづくり			130,157	39,009	169,166	現状維持
2 353	不燃化促進住宅管理			904	5,123	6,027	現状維持
3 373	耐震化の促進			474,601	53,966	528,567	現状維持
4 375	ブロック塀等安全対策支援事業			16,917	8,706	25,623	その他
5 394	狭あい道路拡幅整備			1,129,674	189,797	1,319,471	現状維持
6 395	水害多発地域対策の推進			17,894	2,093	19,987	現状維持
7 396	橋梁の長寿命化と補強・改良			192,070	13,394	205,464	現状維持
8 397	河川維持管理			143,564	29,188	172,752	現状維持
9 399	水防対策			93,736	12,864	106,600	現状維持
10 400	雨水流出抑制対策等工事助成			13,014	11,943	24,957	現状維持
11	以下再掲事業分の評価表						
12 393	都市計画道路の整備						
13 413	公園等の整備						
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				2,212,531	366,083	2,578,614	

<p>施策を構成する 事務事業に関する特記事項</p>	<p>ブロック塀等安全対策支援事業：令和6年度が見直し時期にあたるため、これまでの事業を見直し、助成制度、期間等を検討します。 水防対策：令和7年度より3ヶ年で水防情報システムの改修を計画しており、事業コストの方向性は拡充になります。</p>
---------------------------------	---